

第33回老化促進モデルマウス(SAM)学会 学術大会

大会長： 海野けい子（静岡県立大学）

日 程： 2018年7月14日（土）、15日（日）

場 所： 静岡県立大学 13411講義室（看護学部棟4階）

7月14日（土）

特別講演

「緑茶成分テアニンの多彩な向精神作用について」

功刀 浩（国立精神・神経医療研究センター）

教育講演

「SAMを利用した抗老化および抗ストレス物質の探索と評価法について」

海野けい子（静岡県立大学）

はじめてのSAM（SAMに関する情報提供および質問コーナー）

一般演題募集

7月15日（日）

シンポジウム

細胞レベル・器官系レベルにおける機能（低下）と個体の老化を考える
～炎症から老化機構を考える～

「加齢に伴う腎三次リンパ組織形成：メカニズムの解明と臨床応用への展望」

佐藤有紀（京都大学大学院医学研究科）

「幹細胞老化と組織恒常性の破綻におけるmicroRNAが果たす役割」

金田勇人（滋賀医科大学）

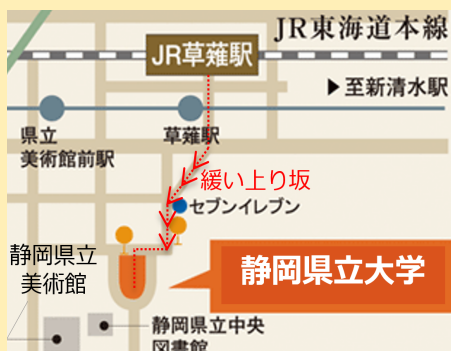
「“免疫-代謝”の連携から加齢関連疾患の病態を考える」

大石由美子（東京医科歯科大学）

ランチョンセミナー

「食品中生理活性物質の探索と応用～食品に秘められた力を紐解く～」

長谷 正（花王株式会社）



一般演題申し込み等、詳しくは
大会ホームページをご覧ください
(<http://33rd.samrc.jp/>)



JR草薙駅より徒歩15分
JR静岡駅よりタクシー20分

参加費：一般5,000円、学生1,000円

事務局：静岡県立大学薬学部（〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1）

メール：sam2018@u-shizuoka-ken.ac.jp

主 催：老化促進モデルマウス（SAM）学会 <http://www.samrc.jp>